

平成 31 年度 芸術科（書道）

教科	芸術科	科目	書道Ⅲ	単位数	2 単位	年次	3 年次
使用教科書	書 Ⅲ （光村図書出版）						
副教材等	な し						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

- ・書道Ⅰ・書道Ⅱの授業で学んだことを発展させて、用具用材の違いによる表現の違い等を学びましょう。
- ・さまざまな書体・書風を体験し、筆の弾力を使いこなし、自分らしい文字を書くことが出来るようになることを目指しましょう。
- ・身近に飾れる作品の制作や卒業制作を通して達成感を味わい、書を愛好する心情を育てましょう。

2 学習の到達目標

書道の創造的な諸活動を通して。生涯にわたり書を愛好する心情と、書の文化や伝統を尊重する態度を育てるとともに、感性を磨き、個性豊かな書的能力を高める。

3 学習評価（評価規準と評価方法）

観 点	a: 書への関心・意欲・態度	b: 書表現の構想と工夫	c: 創造的な書表現の技能	d: 鑑賞の能力
観 点 の 趣 旨	書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。	書表現の諸要素を感受し、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	創造的な書表現をするために、書の効果的な表現の技能を身に付け表している。	文字や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっている。
評 価 方 法	観察 ポートフォリオ	観察 提出作品	観察 提出作品	観察 レポート ポートフォリオ 提出作品
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に 5 段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

#### 4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a.	b.	c.	d.		
1学期	漢字の書	<ul style="list-style-type: none"> <li>漢字の五書体について復習・理解し、技法の習熟を図る。</li> <li>『高貞碑』</li> <li>『喪乱帖』</li> <li>『礼器碑』</li> <li>『篆書崔子玉座右銘』</li> </ul>	○	○	○	○	a: さまざまな書体の古典の美とその表現技法について関心をもち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。 b: 古典の臨書や鑑賞学習を通して字形や全体構成について考え、理解し、自らの表現意欲を高めている。 c: さまざまな書体がもつ特徴的な表現技法を習得し、創造的な表現へ積極的につなげている。 d: 各書体の美しさを的確に分析し、古典から感じたことを積極的に伝えることができる。	観察 ポートフォリオ 提出作品
	漢字仮名交じりの書	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の気持ちや感じていることを言葉にし、文字の造形・紙面構成、筆使い等を工夫して表現する。また賞を通して幅広い表現方法を知る。</li> <li>作品鑑賞を行う。</li> </ul>	○	○	○	○	a: 自己の感興や意図を実現するため、主体的に表現の構想を具体化しようとしている。 b: 古典や古筆の学習を通して習得した知識・技能を生かして構想を練っている。 c: 言葉と情景と表現の関係を考え、書風や線質、全体の構成を工夫することができる。 d: 作品から感じたことを伝え、補完し合いながら、理解を深めていくことができる	観察 レポート ポートフォリオ 提出作品

2学期	裏打ち・表具	・裏打ち・表具の方法・技術を学び、一学期の自分の作品を自らでパネル作品に仕上げる。	○		○		a: 作品の裏打ち・表具の方法・技術に関心を持ち、理解しようとしている。 b: 作品の裏打ち・表具の方法・技術について理解して、周りとは協力し適切に作業するようにしている。 c: 作品の裏打ち・表具の方法・技術について理解して、周りとは協力し適切に作業することができる。 d: 作品の裏打ち・表具の方法・技術について理解している。	観察 提出作品
	仮名の書	・仮名の理解と技法の習熟を図り、幅広い表現方法を理解する。 『本阿弥切古今集』 ・	○	○	○		a: 本阿弥切古今和歌集の書美に関心を持ち、意欲的に臨書や鑑賞に取り組もうとしている。 b: 本阿弥切古今和歌集の用筆や線質などの特徴を理解し、書風を生かした表現を工夫している。 c: 本阿弥切古今和歌集の用筆や線質などの特徴を理解し、書風を生かした表現を工夫することができる。 d: 本阿弥切古今和歌集の造形美・構成美・流動美・律動美と作者の人間性に基づく個性的な美しさを総合的に理解している。	観察 ポートフォリオ 提出作品
	漢字かな交じりの書	漢字・仮名の学習を生かして校歌をかく ・細筆で校歌の歌詞を書く		○	○	○	a: 自己の感興や意図を実現するため、主体的に表現の構想を具体化しようとしている。 b: 古典や古筆の学習を通して習得した知識・技能を生かして構想を練っている。 c: 言葉と情景と表現の関係を考え、書風や線質、全体の構成を工夫することができる。 d: 作品から感じたことを伝え、補完し合いながら、理解を深めていくことができる	観察 ポートフォリオ 提出作品

	卒業制作①	<p>スクラッチ皿の制作</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業記念に飾りたい言葉を考え、丸型への構成、文字の表現などを工夫して創作をする。</li> <li>・スクラッチ皿に転写し、かご字をとり、その中を削る。</li> <li>・末長く高校卒業記念として残せる作品にできるように丁寧に取り組む。</li> </ul>	○	○	○	○	<p>a: 卒業制作を通して思いと言葉と書の関係に関心を持っている。</p> <p>b: 言葉を効果的に表現する全体の構成を考え、創造的な表現を工夫している。</p> <p>c: 言葉を効果的に表現する全体の構成を考え、創造的な表現を工夫することができる。</p> <p>d: 書によって思いを伝えることができることを理解している。</p>	観察 レポート 提出作品
3学期	卒業制作②	<ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業式の会場に展示する大きな共同作品を制作する。</li> <li>・言葉選び・担当決め・練成・制作・装飾と段階を踏み、完成させる。</li> </ul>	○	○	○		<p>a: 卒業制作を通して、思いと言葉と書の関係に関心を持っている。</p> <p>b: 言葉を効果的に表現する全体の構成を考え、みんなで力を合わせ、創造的な表現を工夫している。</p> <p>c: 言葉を効果的に表現する全体の構成を考え、みんなで力を合わせ、創造的な表現を工夫することができる。</p> <p>d: 書によって思いを伝えることができることを理解している。</p>	観察 レポート 提出作品

※ 表中の観点について a: 書への関心・意欲・態度      b: 書表現の構想と工夫  
c: 創造的な書表現の技能      d: 鑑賞の能力

※ 原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。